

—2020年コロナ禍の職種別「残業時間」を調査— 4月の緊急事態宣言後に全職種の平均残業時間が約7.5時間減少

総合人材サービス、パーソルグループのパーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾太郎）が運営する転職サービス「doda（デューダ）」< <https://doda.jp> > は、20～59歳のビジネスパーソン15,000人を対象に、職種別の残業時間の実態調査を行いましたので、結果をお知らせいたします。

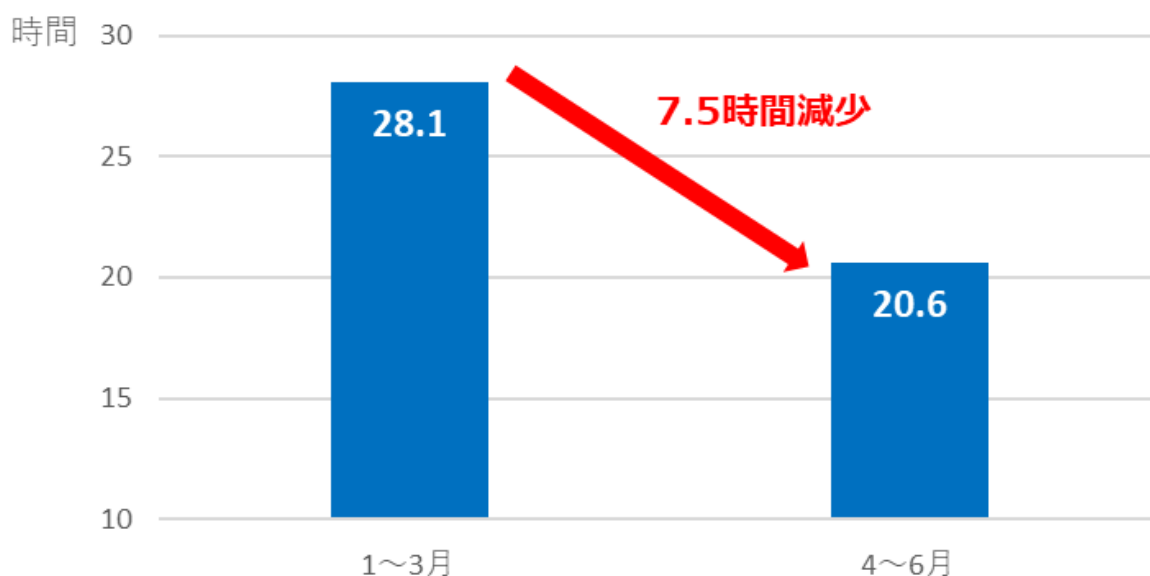
▼調査結果の詳細

< <https://doda.jp/guide/zangyo/> >

【主な調査結果】

- ◆2020年の緊急事態宣言前（1～3月）の1カ月の平均残業時間は28.1時間、宣言後（4月～6月）の平均残業時間は20.6時間と、コロナの影響で7.5時間残業時間が減少。
- ◆訪問営業や対面営業の抑制により、「営業」系の職種の多くで残業時間が減少。
- ◆残業時間の少ない職種には、コロナ以前同様に「事務／アシスタント」系が多くランクイン。
- ◆残業時間の多い職種には、「エンジニア」系、「営業」系、「クリエイティブ」系が多くランクイン。

2020年緊急事態宣言前後の平均残業時間



残業時間が減った職種 ランキングTOP20

順位	職種名	職種分類名	残業時間※1	変化※2
1	基礎研究	モノづくり系エンジニア	25.4	-18.3
2	コンサルタント	コンサルタント/不動産専門職	21.6	-17.4
3	技術営業	モノづくり系エンジニア	19.0	-17.0
4	建設/不動産の営業	営業	27.5	-15.3
5	プロデューサー/ディレクター/プランナー (出版/広告/Web/映像関連)	クリエイティブ	25.2	-14.5
6	ITコンサルタント (アプリ)	IT/通信系エンジニア	27.2	-13.7
7	生産/製造 (医療系)	医療系専門職	17.5	-13.4
8	電機メーカーの営業	営業	16.5	-12.4
8	広告/メディアの営業	営業	25.5	-12.4
10	施工管理	建築/土木系エンジニア	36.9	-12.0
11	購買/資材調達	企画/管理	19.5	-11.5
11	設計監理/施工監理/コンストラクションマネジメント	建築/土木系エンジニア	28.0	-11.5
13	小売/外食の営業	営業	16.8	-11.4
14	食品/消費財メーカーの営業	営業	22.2	-11.0
15	IT/通信/インターネットの営業	営業	26.2	-10.8
16	専門商社の営業	営業	21.8	-10.7
17	設計/デザイン/積算/測量	建築/土木系エンジニア	25.5	-10.5
18	内部監査	企画/管理	14.6	-10.3
19	美容関連職 (理美容/エステ/マッサージ)	販売/サービス	23.9	-10.2
20	ネットワークエンジニア	IT/通信系エンジニア	21.0	-10.1
20	機械設計/金型設計/光学設計	モノづくり系エンジニア	23.3	-10.1

単位：時間

※1) 2020年4~6月の1カ月あたりの平均

※2) 2020年1~3月と比較して、4~6月の1カ月あたりの平均残業時間がどう変わったか

■コロナの影響で残業時間が7.5時間減少。2020年4月~6月の平均残業時間は、1月あたり20.6時間。
なかでも「営業」系の職種の多くで残業時間が大幅に減少。

2020年4~6月の15,000人の1カ月あたりの平均残業時間は20.6時間でした。緊急事態宣言前の同年1~3月の平均(28.1時間)と比べると7.5時間短い結果となりました。

コロナ禍で残業時間が最も大きく減少したのは「基礎研究」(18.3時間減少)、次いで「コンサルタント」(17.4時間減少)、3位に「技術営業」(17.0時間減少)となりました。そのほか、残業時間が減った職種TOP20の中に多くランクインしたのは営業系の職種でした。営業系の全16職種の残業時間は2020年1~3月の期間と比べると、月平均で8.9時間減少しており、全体平均の7.5時間よりも大きく減少しています。感染防止を目的に、取引先や見込み顧客への訪問営業や対面営業が抑制されたことなどが、残業時間の大幅な減少につながったと考えられます。

残業が少ない職種 ランキング TOP20

順位	職種名	職種分類名	残業時間※1	変化※2
1	営業事務アシスタント	事務／アシスタント	9.2	-3.3
2	医療事務アシスタント	事務／アシスタント	10.7	-3.0
3	MR	営業	11.8	-8.7
4	薬事	医療系専門職	12.5	-4.2
5	一般事務アシスタント	事務／アシスタント	12.7	-5.6
6	店舗／施設管理／店舗開発	販売／サービス	13.2	-9.5
6	経理／財務事務アシスタント	事務／アシスタント	13.2	-6.0
8	秘書／受付	事務／アシスタント	13.9	-5.6
8	企画／マーケティング関連事務アシスタント	事務／アシスタント	13.9	-4.1
10	内部監査	企画／管理	14.6	-10.3
11	金融事務アシスタント	事務／アシスタント	14.8	-5.4
11	旅行／宿泊／ホテル／冠婚葬祭関連職	販売／サービス	14.8	-4.5
13	販売／接客／売り場担当	販売／サービス	15.3	-7.0
14	学術／メディカルサイエンスリエゾン	医療系専門職	15.4	-6.2
15	人事事務アシスタント	事務／アシスタント	15.5	-4.9
16	貿易事務アシスタント	事務／アシスタント	15.7	-7.9
17	総務／法務／知財／広報事務アシスタント	事務／アシスタント	16.4	-9.3
17	金融業界の個人営業	営業	16.4	-7.8
17	品質管理／品質保証（素材／化学／食品系）	素材／化学／食品系エンジニア	16.4	-4.9
20	電機メーカーの営業	営業	16.5	-12.4

単位：時間

※1) 2020年4～6月の1カ月あたりの平均

※2) 2020年1～3月と比較して、4～6月の1カ月あたりの平均残業時間がどう変わったか

■ 残業が少ない職種 ランキング TOP20

残業時間が少ない職種 TOP20 の2020年4～6月の平均残業時間は14.1時間で、同年1～3月の20.7時間から6.6時間短くなっています。コロナ禍で多くの職種の残業時間が減りました。

残業時間が少ない職種ランキング1位は「営業事務アシスタント」で9.2時間でした。2位は同じく事務／アシスタント系の「医療事務アシスタント」（10.7時間）。ほかにも5位に「一般事務アシスタント」（12.7時間）、6位に「経理／財務事務アシスタント」（13.2時間）など、上位20職種のうち半分の10職種を事務／アシスタント系が占めています。この傾向はコロナ以前の1～3月でも同様に見られ、事務／アシスタント系の職種は安定して残業時間が少ないことが分かります。

また、6位に「店舗／施設管理／店舗開発」（13.2時間）、11位に「旅行／宿泊／ホテル／冠婚葬祭関連職」（14.8時間）、13位に「販売／接客／売り場担当」（15.3時間）と、「販売／サービス」系の職種が上位にランクインした背景には、緊急事態宣言下における飲食店などへの営業自粛要請の影響があったと考えられます。

残業が多い職種 ランキング TOP20

順位	職種名	職種分類名	残業時間※1	変化※2
1	教育/スクール	販売/サービス	38.6	-3.4
2	施工管理	建築/土木系エンジニア	36.9	-12.0
3	人材サービスの営業	営業	30.8	-8.4
4	設計監理/施工監理/コンストラクションマネジメント	建築/土木系エンジニア	28.0	-11.5
4	物流/倉庫/在庫管理	企画/管理	28.0	-7.2
6	総合商社の営業	営業	27.7	-8.3
7	建設/不動産の営業	営業	27.5	-15.3
8	ITコンサルタント(アプリ)	IT/通信系エンジニア	27.2	-13.7
9	サーバーエンジニア	IT/通信系エンジニア	26.5	-9.4
10	IT/通信/インターネットの営業	営業	26.2	-10.8
11	回路設計	モノづくり系エンジニア	25.8	-8.2
12	法務/知的財産/特許	企画/管理	25.7	-2.9
13	広告/メディアの営業	営業	25.5	-12.4
13	設計/デザイン/積算/測量	建築/土木系エンジニア	25.5	-10.5
15	基礎研究	モノづくり系エンジニア	25.4	-18.3
16	プロデューサー/ディレクター/プランナー(出版/広告/Web/映像関連)	クリエイティブ	25.2	-14.5
16	組み込みエンジニア	モノづくり系エンジニア	25.2	-6.8
18	研究(医療系)	医療系専門職	25.1	-7.0
19	運輸/物流サービス	販売/サービス	24.8	-8.5
20	研究開発/R&D(IT/通信)	IT/通信系エンジニア	24.3	-4.8

単位：時間

※1) 2020年4~6月の1カ月あたりの平均

※2) 2020年1~3月と比較して、4~6月の1カ月あたりの平均残業時間がどう変わったか

■残業が多い職種 ランキング TOP20

2020年4~6月に残業時間が多かった職種 TOP20 の1カ月あたりの平均残業時間は27.5時間でした。緊急事態宣言前である同年1~3月の37.2時間から、-9.7時間と大幅に減少しました。残業時間の多いランキングの上位には、「エンジニア」系、「営業」系、「クリエイティブ」系の職種が多く並びますが、コロナ禍により、これらの職種についても残業時間の減少が大きかったことが分かります。残業時間が多い職種ランキング1位は、「教育/スクール」(38.6時間)で、2位は建築/土木系エンジニアの「施工管理」(36.9時間)となりました。

2020年1~3月の期間の調査データで残業時間が多い職種をランキングにすると、「教育/スクール」の順位は4位(42.0時間)、「施工管理」は1位(48.9時間)でしたが、コロナ禍で順位が変動しています。ほかにも、1~3月には2位だった「基礎研究」(43.7時間)は18.3時間の減少で15位(25.4時間)に、6位だった「プロデューサー/ディレクター/プランナー(出版/広告/Web/映像関連)」(39.7時間)は14.5時間の減少で16位(25.2時間)まで順位を下げ、このような順位の変動は「エンジニア」系や「クリエイティブ」系の職種で顕著です。

また、「営業」系の職種でも、1~3月には3位だった「建設/不動産の営業」(42.8時間)は15.3時間の減少で7位(27.5時間)に、9位だった「広告/メディアの営業」(37.9時間)は12.4時間の減少で13位(25.5時間)へと順位を下げました。半面、残業時間は8.4時間減少しましたが、8位(39.2時間)から3位に順位が繰り上がった「人材サービスの営業」(30.8時間)のように、TOP20の中では残業時間の減り幅が相対的に小さかったことで順位が変動した職種もあります。

【調査概要】

調査対象：20歳～59歳の男女

雇用形態：正社員

調査方法：ネットリサーチ会社を利用したインターネット調査

(ネットリサーチ会社保有のデータベースを元を実施、doda 会員登録の状況については不問)

実施期間：2020年8月

有効回答数：15,000件

詳細は < <https://doda.jp/guide/zangyo/> > でご確認ください。

■ 「doda」について < <https://doda.jp> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級のdoda 転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。

■ パーソルキャリア株式会社について < <https://www.persol-career.co.jp/> >

パーソルキャリア株式会社は、**「人々に「はたらく」を自分のものにする力を**をミッションとし、転職サービス「doda」やハイクラス人材のキャリア戦略プラットフォーム「iX」をはじめとした人材紹介、求人広告、新卒採用支援等のサービスを提供しています。2017年7月より、株式会社インテリジェンスからパーソルキャリア株式会社へ社名変更。グループの総力をあげて、これまで以上に個人の「はたらく」にフォーカスした社会価値の創出に努め、社会課題に正面から向き合い、すべての「はたらく」が笑顔につながる社会の実現を目指します。

■ 「PERSOL (パーソル)」について < <https://www.persol-group.co.jp/> >

パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」、IT アウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様な事業を展開しています。グループの経営理念・サステナビリティ方針に沿って事業活動を推進することで、持続可能な社会の実現とSDGsの達成に貢献していきます。

また、人材サービスとテクノロジーの融合による、次世代のイノベーション開発にも積極的に取り組み、市場価値を見出す転職サービス「ミイダス」、テクノロジー人材のエンパワーメントと企業のDX組織構築支援を行う「TECH PLAY」、クラウド型モバイルPOSレジ「POS+ (ポスタス)」などのサービスも展開しています。